

広報

第955号

# いながわ

3

月

平成31年  
(2019年)



楽しく踊ってみんなを笑顔に(町老人クラブ連合会)※詳細31ページ

## 特集

### 「職住近接」のまちづくり

～平成31年度町長施政方針～

大切なペットの命を守る  
同行避難への備え 〇 10

しまった・こまった・たすかった  
契約時は冷静に!  
～屋根・外壁塗装工事契約時の実例より～ 〇 25

瞬(ときめき) 花吉 通昭さん 〇 26

私のオススメ★  
猪名川町観光ボランティアガイドの会 〇 27

いながわ特派員報告  
お友だちと楽しく交通ルールを学ぼう!  
うさちゃんクラブ 〇 28

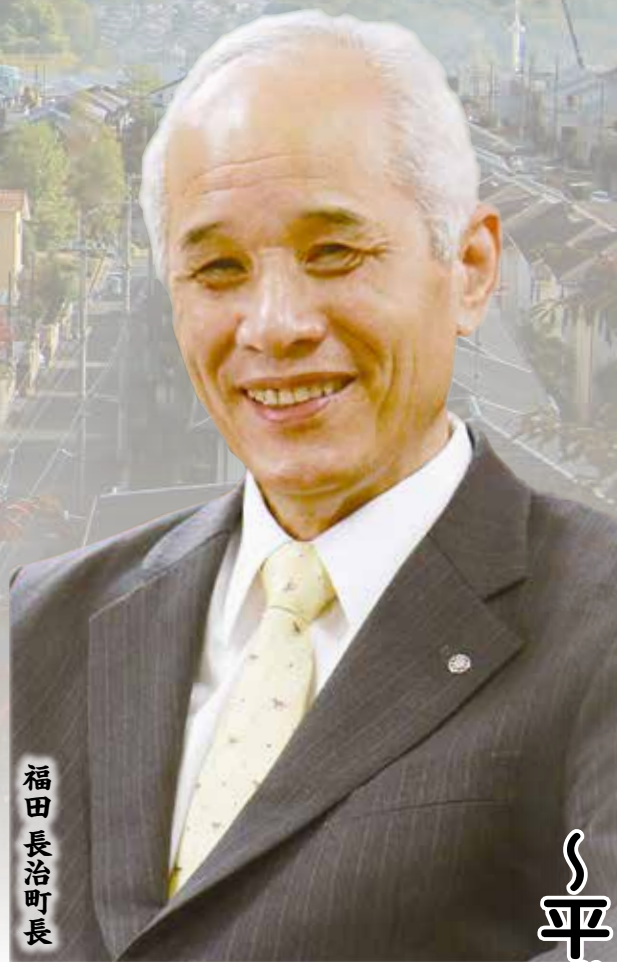


春の訪れを告げる菜の花(南田原)



# 「職住近接」のまちづくり

## 平成31年度町長施政方針



福田 長治町長

2月20日に行われた、第393回町議会定例会で、福田町長が新年度の町政運営と重要施策について説明しました。  
※要旨抜粋・全文は企画財政課窓口、町ホームページ参照  
▽問合せ 企画財政課（☎766・8711）

### まちづくりの課題と使命

昨年は、大阪府北部で最大震度6弱を記録した「大阪北部地震」や広範囲にわたる集中豪雨で各地に被害をもたらした「平成30年7月豪雨」、度重なる台風の日本列島への上陸のほか、記録的な猛暑など多くの災害に見舞われ、日本各地で甚大な被害がありました。本町におきましても、住宅の全壊、一部損壊などの被害

害もあり、住宅再建についての支援を行ったところです。こうした被害を目の当たりにし、改めて安全に安心して暮らせるまちづくりの重要性を認識することとなりました。

また、少子高齢化による担い手不足や交通不便地の増加、空き家問題など様々な課題があります。これらの課題は、地域活力の低下につながるため、持続可能なまちづくりを進めるに際して早急に対応し

なければなりません。そのような中、本町は地域創生の取り組みに一層力を入れており、昨年は、ひょうご地域創生交付金を活用したライフサポート事業を実施し、縁結びから、結婚、出産、子育て支援の充実や、高齢者の外出支援、多世代交流型の公園整備など一生涯を通して、いきいきと健康に暮らしていただけるまちづくりを進めてまいりました。

### 安全・安心の教育環境

新年度は、今までの地域における見守り活動に加え、通学路の安全点検の結果を受けて防犯カメラを約70基設置し、子どもたちの安全の確保、保護者の不安解消に努めてまいります。



さらに、近年の夏の猛暑は大変厳しく、特に教育現場における園児・児童・生徒の健康面に大きな不安があります。本町の幼稚園・小学校・中学校にはエアコンが整備できず、本年度補正予算を計上し早期にエアコンの整備に取り組むこととしております。

### 新たなまちづくりに向けて

新年度は「第五次猪名川町総合計画」の計画期間における最終年度となります。子育て、教育、健康長寿、生きがい、暮らし、雇用などのあら



産業拠点地区の造成工事の様子（2月撮影）

ゆる分野で住みよいまちづくりを進めることはもちろんのこと、新名神高速道路の開通効果を十分に活かした「職住近接」のまちづくりを進めるべく、産業拠点地区の開発「プロロジス猪名川プロジェクト」、農業・観光振興を目的とした「道の駅いながわ機能拡大プロジェクト」など、これまでの「住」の要素だけでなく、新たに「職」の要素を取り入れたまちづくりを進めてまいります。

### 企業誘致の推進

産業拠点地区につきましては、民間活力による産業拠点の形成を図ることとし、「プロロジス猪名川プロジェクト」が進行しております。新年度には造成工事が完了予定であることから、本町で初となる産業団地がいよいよ完成を迎えることとなります。この産業団地への企業立地が実現することにより、本町における産業振興、雇用機会の創出および地域経済の活性化につながることから、今後とも事業者をはじめ、行政機関および関係団体など官民が一体となり企業誘致を推進してまいります。

### 道の駅いながわ機能拡大

道の駅いながわ機能拡大につきましては、新名神高速道路の整備を契機とした六次産業の拠点整備や地域拠点、観光拠点といった基本方針に基づき新たな機能である子育て支援などの取り組みが高く評価され、本年1月に国土交通省より「重点道の駅」候補に選定されました。今後も国や県と連携し、取り組んでまいります。（詳細14ページ）



道の駅いながわ移転計画地（南田原）

### 川西市との自治体間連携協定

本年2月に川西市との間で自治体間連携協力に関する基本協定を締結しました。文化・生活圏を同じくする両市



越田川西市市長（左）と福田町長

町が、包括的な連携と協働体制の構築を目指します。幅広い分野で相互に連携協力できるように新年度から具体的な連携項目の検討を進めてまいります。

### 今年は「いのこ」年

本年2019年は「亥年」であり、町名に「猪」がつく本町としては、シティプロモーションにも活かし、飛躍の年にしたいと考えております。「兵庫県猪名川町」の名前を多くの方々に知っていただくためにも、マスコットキャラクター「いのぼう」とともに、PRに努めてまいります。



いのぼう



総額 196 億 2,966 万円

一般会計を中心にその概要をお知らせします。この予算案は、3 月 22 日まで開催される第 393 回町議会定例会で審議されています。

※「予算の概要」は町ホームページ参照



## 平成 31 年度 当初予算の内訳

(単位：万円)

会計名	平成 31 年度当初	平成 30 年度当初	比 較	増減 (%)
一般会計	101 億 6,000	95 億 1,000	6 億 5,000	6.8
特別会計				
国民健康保険	33 億 8,681	34 億 2,144	△ 3,463	△ 1.0
介護保険	23 億 787	23 億 386	401	0.2
後期高齢者医療保険	7 億 5,406	7 億 1,211	4,195	5.9
農業共済	3,786	3,858	△ 72	△ 1.9
奨学金	1,651	1,655	△ 4	△ 0.2
小 計	65 億 311	64 億 9,253	1,057	0.2
企業会計				
水道事業会計	12 億 454	11 億 801	9,654	8.7
下水道事業会計	17 億 6,201	17 億 1,861	4,340	2.5
小 計	29 億 6,655	28 億 2,662	1 億 3,994	5.0
合 計	196 億 2,966	188 億 2,915	8 億 51	4.3

※端数処理により各項目合計と合計欄の数値が一致しない場合があります

一般会計、特別会計、企業会計の総額は、196 億 2,966 万円、前年度より 8 億 51 万円 (4.3%) 増加しています。そのほか地方交付税や譲与税・交付金などの一般財源は 1 億 7 千万円増加し、国県支出金などの特定財源も 1 億 6 千万円増加しています。また、建設事業の財源として、町債の借り入れ、まちづくり基金からの繰り入れを行い、最終的な財源不足額 4 億 3 千万円は財政調整基金からの繰り入れで補っています。

◆主な歳入 (6 ページ図 1)  
 町税が 34 億 3 千万円、前年度より 3 千万円増加しています。  
 ◆主な歳出 (6 ページ図 2)  
 民生費 (児童手当給付費 (5 億 6 千万円)、後期高齢者医療保険特別会計への繰り出し (3 億 7 千万円)、介護保険特別会計への繰り出し (3 億 3 千万円)、施設型給付等負担金 (2 億 3 千万円))、教育費 (小学校給食センター整備事業 (6 億 7 千万円)、白金小学校改修事業 (6 億 4 千万円)、猪名川中学校体育館・柔剣道場改修事業 (5 億 3 千万円))、総務費 (ふれあいバスの運営委託 (3 億 2 千万円)、防犯カメラ設置事業 (2 億 6 千万円))、衛生費 (広域ごみ処理施設組合への負担金 (3 億 9 千万円)、健康診査・検診事業 (1 億 2 千万円))、ごみの収集委託 (7 億 9 千万円))



# NEW 道の駅いながわ

～温泉施設や子育て関連施設も計画！～

人口減少や少子高齢化が進む中、今、猪名川町はまちづくりの転換期を迎えています。

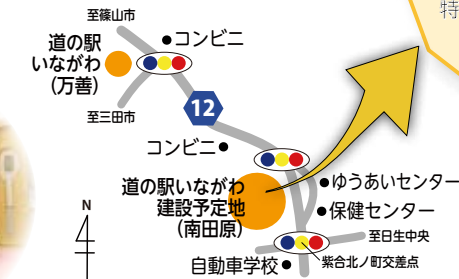
10 年・20 年後、子どもや孫の世代に本町が今以上に元気で活力あるまちであるために、年間約 70 万人の集客を誇る「道の駅いながわ (万善地区)」を南田原地区に移転し、規模拡大を計画しています。

今後、事業者を公募し、2023 年のオープンを目指します。

温泉楽しみ～♪



親子であそべる！



2023 年オープン予定の「道の駅いながわ」(南田原・約 3.6ha) 施設計画図  
 ※今後の協議により内容などは一部変更になる可能性があります

## 魅力満載！

施設内は、子どもも大人も楽しめる、新たな魅力がいっぱい！

大規模な温泉施設や子育て関連施設、お茶を飲みながら交流のできるスペースなど、まちの皆さんに安らぎや憩いの場を提供します。また、地域の新鮮野菜に加え、地場産品やお土産も充実。「美味しい、楽しい、また来たい」が満載です。

## 官民連携 (PFI) 方式

現在の「道の駅いながわ」は、町が施設整備を行い、運営は指定管理者が行ってきました。しかし本計画は、「官民連携 (PFI) 方式」を活用し、資金調達・施設整備・20 年間の管理運営までを一括して民間事業者が行います。町は施設整備費相当額を 20 年間に分けて支払う一方で、民間事業者が運営で得た収益の一部を町の収入とし、それを施設整備費に充て、財政負担を軽減します。

## 《官民連携 (PFI) 事業費の試算 (期間 20 年)》

町の支出＝施設整備費相当額	37 億 3,800 万円
町の収入＝運営収益の一部	28 億 800 万円
町の実質負担額	9 億 3,000 万円
《別途》用地購入費相当額	5 億 6,500 万円

## 道の駅とは

道路利用者や地域住民のための「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」の 3 つの機能を併せ持つ施設で、現在、全国で約 1,100 カ所が登録されています。

## 「重点 道の駅」候補に選定

新たな「道の駅いながわ」の取り組みが、地域活性化に効果的な取り組みであるとして国土交通省に評価され、「重点 道の駅」候補に選定されました。これにより、補助金、交付金などの新たな財源の獲得に向け、関係機関との連携・相談・調整をスムーズに行うことができます。

▶問合せ 産業観光課まち活性化推進室 (☎ 768 - 6016)



図 1

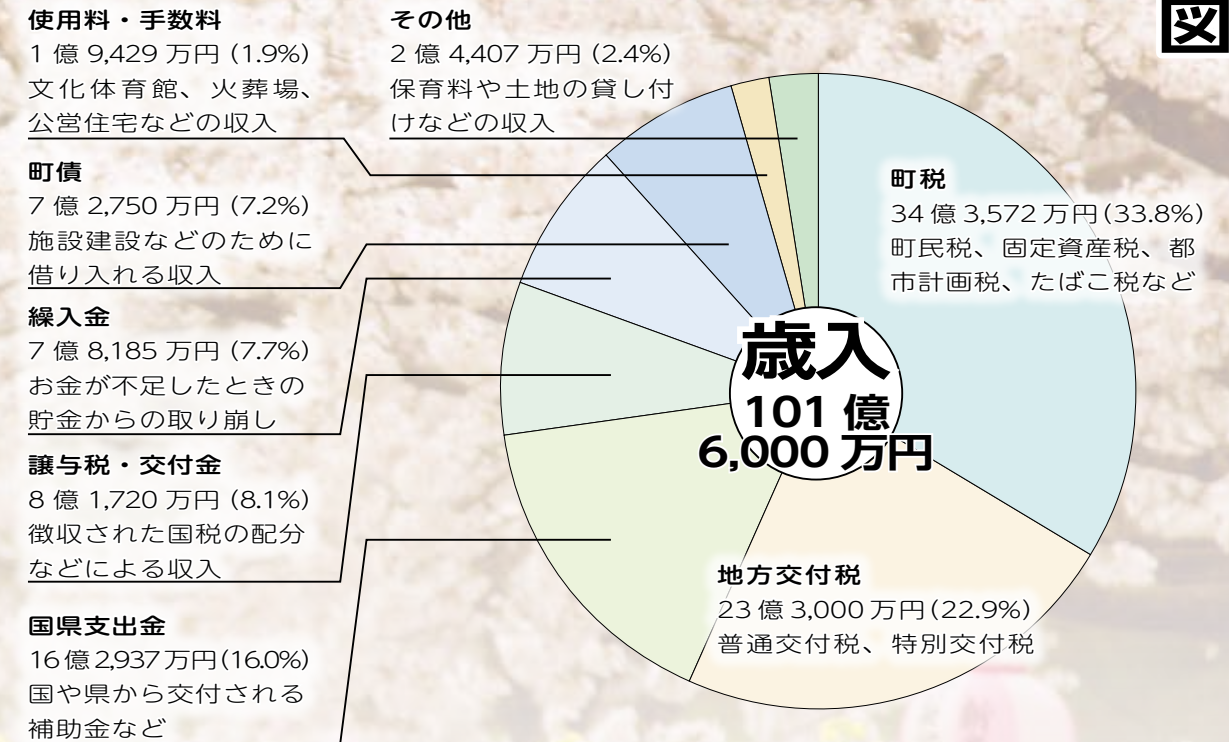
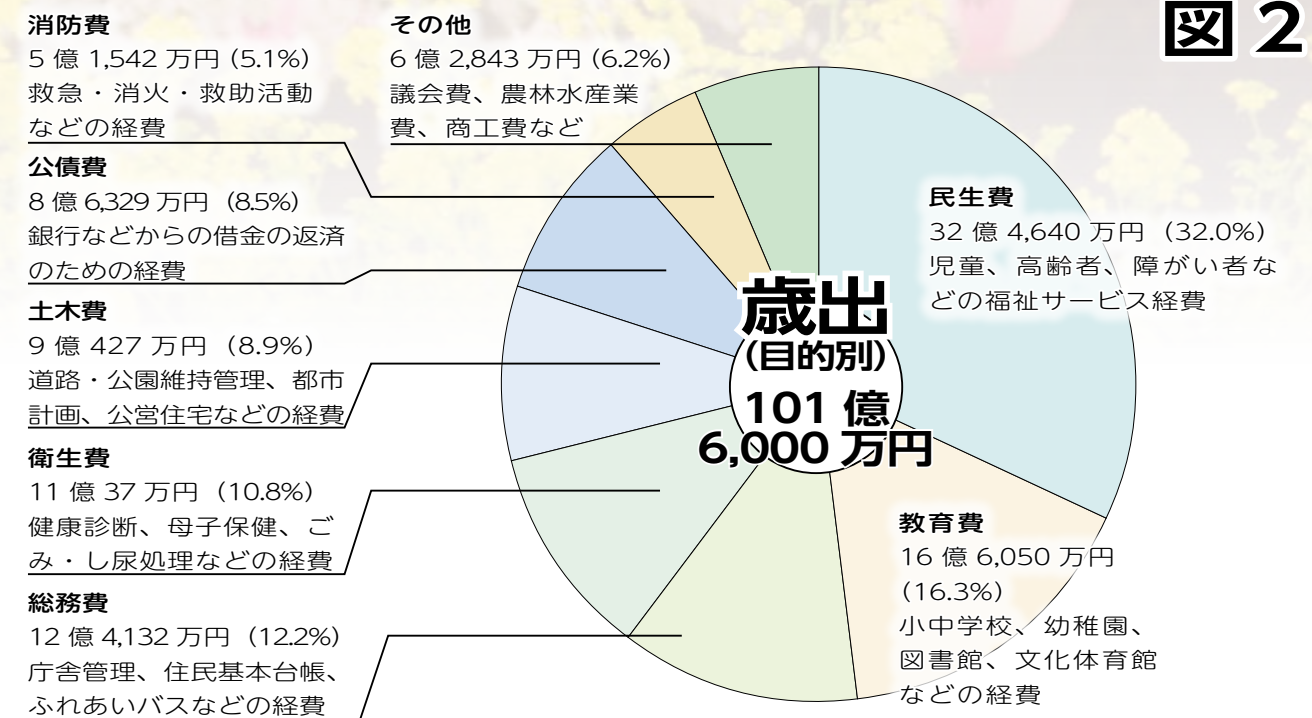


図 2



# 主要事業概要

笑顔あふれる  
ふれあいのまち  
～地域・生活～

## 防災対策事業

185万1千円（拡充）

自治会館などを地域の緊急避難場所として積極的に活用していただくための助成制度や、地域で大雨災害に備えるための土のう作成・備蓄にかかる助成制度を継続します。また、町防災マップを更新・全戸配布し、お住まいの地区がどのような地域なのかを確認いただき、災害発生が予測される際の避難行動などへの活用を進めます。さらに、災害時の情報伝達手段として、メールに加え、新たにFAXや固定電話に避難情報などを配信するサービスを開始します。

## 防犯対策事業

556万3千円（拡充）

安全安心なまちづくりの実現に向けて、通学路に約70基の防犯カメラを設置し、登下

校時の子どもの安全を確保します。また、新設された町道広根7号線は、通学する生徒も多く利用するため、防犯灯を設置します。地域防犯活動団体とは、更なる連携強化を行うとともに、公用車の青色回転灯装備車を増やし、見回り・見守りに努めます。

こころ安らぐ自然に  
育まれたまち  
～環境・景観～

## 公園緑地の維持管理

1億1100万2千円（継続）

総合公園、地区公園、近隣公園などの46公園および71カ



所の緑地の定期的な安全点検や適切な維持管理を行い、公園遊具などによる事故を未然に防止します。

## 希少水生生物等保全事業

202万円（継続）

町内に生息する希少水生生物を環境交流館に展示し、環境保全意識を啓発するとともに、環境学習の情報発信や環境団体などとの交流の場として活用を進めます。

いきいきと暮らせる  
健康長寿のまち  
～健康・福祉～

## 健康器具設置事業

990万円（継続）

高齢者の健康増進や公園利用を促進するため、平成29年度から町内の公園に健康器具の設置を進めています。平成31年度は、新たに楊津・阿古谷・白金地区の公園に健康器具の設置を行います。

## 高齢者外出支援事業

200万円（拡充）

70歳以上で運転免許証を自主返納した人を対象に、返納時の1回に限り、阪急バスの定期券「h a n i c a グラ

「いながわ100万歩  
チャレンジ！」事業

392万4千円（拡充）

住民の「健康づくり」のきっかけとなるように、町の自然環境を活かしたウォーキングの推進および支援のための各種教室を開催します。関西大学との事業連携により、内容を充実させ、新規参加者の増加を目指します。





## 電子母子手帳導入事業

85万2千円（新規）

スマートフォンなどで、妊娠中の健康記録や子どもの成長記録・予防接種のスケジュールなどを一括管理することができ、子育て支援アプリを導入します。

このアプリを利用して、町が実施するイベントや子育て情報を提供するなど、より細やかな情報発信に努めます。

## 保育園完全給食の実施

162万2千円（新規）

保護者の負担軽減や食育を推進するため、これまで持参していた3〜5歳児の主食について、実費相当額を保護者に負担いただき、炊き立てのご飯を園児に提供する環境を整えます。



## 妊娠・出産包括支援事業

264万7千円（新規）

妊娠・出産、子育てに関する悩みに対して、専門的な知識を持った職員が不安や悩みについての相談支援を行います。また、安心して子育てに臨めるよう、妊娠婦やその家族に対して、訪問型や通所型による産前・産後サポート事業を開始します。

## こころ豊かな

教育・文化のまち  
教育・文化

## 命の教育推進事業

27万円（新規）

小・中学校でのいのちの大切さの学びを深める「命の尊厳

## 学校園空調設備整備事業

8億1948万1千円（繰越）

近年の猛暑により、学校園の教室などの室温が例年になく上昇し、深刻な問題となっています。園児・児童・生徒の健康を守り学習環境を改善するため、普通教室・特別教室などに空調設備を整備します。



## 学校教育施設大規模修繕事業

1億6746万4千円（継続）

学校施設の老朽化などに対応するため、白金小学校の大規模修繕、松尾台・楊津小学校の体育館修繕、猪名川中学校の体育館・柔剣道場の外壁および屋根を修繕します。

## 携帯電話等エリア整備事業

577万8千円（新規）

携帯電話不感地区である銀山地区に携帯電話基地局を整備し、通信環境を確保します。

また、高速の通信環境を整備することで、銀山地区にある国史跡多田銀銅山遺

跡の見どころを、AR（拡張現実）やVR（仮想現実）といったデジタルコンテンツを活用して紹介・学習できる環境の整備について検討を進めます。

## ふるさと館活性化事業

382万3千円（新規）

江戸時代の僧侶、木喰（もくじく）明上人が作った一戎大黒天立像（県指定文化財）を購入し、展示解説を行うとともに、本町出身で明治から大正時代にかけて実業家として活躍した富田儀作氏が再興させた高麗青磁の展示スペースの拡充を行います。



## 活力とにぎわいの

あるまち  
都市・産業・観光

## 道路維持補修事業

7094万円（継続）

道路舗装修繕計画に基づき、町道広根猪瀬線など老朽化した町道の修繕工事を行います。

また、安全な通行の確保および省エネルギー化を目指し、若葉・白金地区において設置されている道路照明灯を、従来の水銀灯からLED照明灯に更新します。



## 情報通信基盤整備事業

248万円（新規）

文化体育館や六瀬総合センター（ふらつと六瀬）など町

## 有害鳥獣対策推進事業

896万3千円（継続）

有害鳥獣による農作物被害の増加により、農家の生産意欲の低下が深刻な問題になっていることから、被害軽減のために、「鳥獣被害対策実施隊」による駆除活動を行います。

また、農地に設置する電気柵資材および箱わなの購入に対する支援を行い、有害鳥獣対策の柱である「侵入防御」と「個体数調整」を推進します。

## 大野山管理運営整備事業

2531万5千円（継続）

町の最高峰に位置する大野アルプスランドでは、指定管理者（柏原生産森林組合）や天文台運営委員会と連携し、更なる魅力ある施設運営に努めます。

また、施設の老朽化に対応するため、天文台の屋上や道路の防護柵などの各所の修繕工事を行います。

## 人々と行政が

ともに歩むまち  
行政運営

## 第六次猪名川町

総合計画策定事業

816万9千円（継続）

2020年度から10年運用する、町の最上位計画となる

第六次総合計画を策定するため、地域住民と共に話し合い、10年後の「猪名川町」を考えることで、参画と協働のまちづくりの深化を図っています。

## 猪名川町の未来を描く 高校生フォーラム

119万円（継続）

高校生に猪名川町に対するふるさと意識を持つってもらうために、平成28年度から開催している高校生による政策提案コンテストを継

続します。

平成31年度は、前年度町長賞を受賞した2つの事業の実現に向けて検討を進めます。

## 清流猪名川ふるさと

応援寄付金事業

1185万5千円（継続）

ふるさと納税による寄附をいただいた人へ、「ぼたん鍋セット」など旬の特産品をお贈りしています。

「ふるさとチョイス」や「楽天ふるさと納税」、「ふるさとぶらす」などのサービスを継続し、寄附しやすい環境を整え、特産品の効果的なPRに努めます。

